

# 福井空港におけるJAXA被雷危険性予測技術の研究開発概要

## 経緯

- ・雷による機体の損傷や運航の乱れに伴う経済的な損失は、航空機運航にとって無視できない  
被雷件数：年間数百件（国内）  
被害額：年間数億円（国内）
- ・JAXAでは、気象レーダなどによる気象観測情報を用いた被雷危険性予測システムを試作し、早期社会実装を目指している



## 目的

- ・被雷危険性予測システムに、高度な気象レーダ（X帯二重偏波気象レーダ）を導入し、より優れた被雷危険性予測を実現

## 観測実験

期 間：令和4年9月下旬以降

※気象レーダ設置 令和4年8月22日～28日

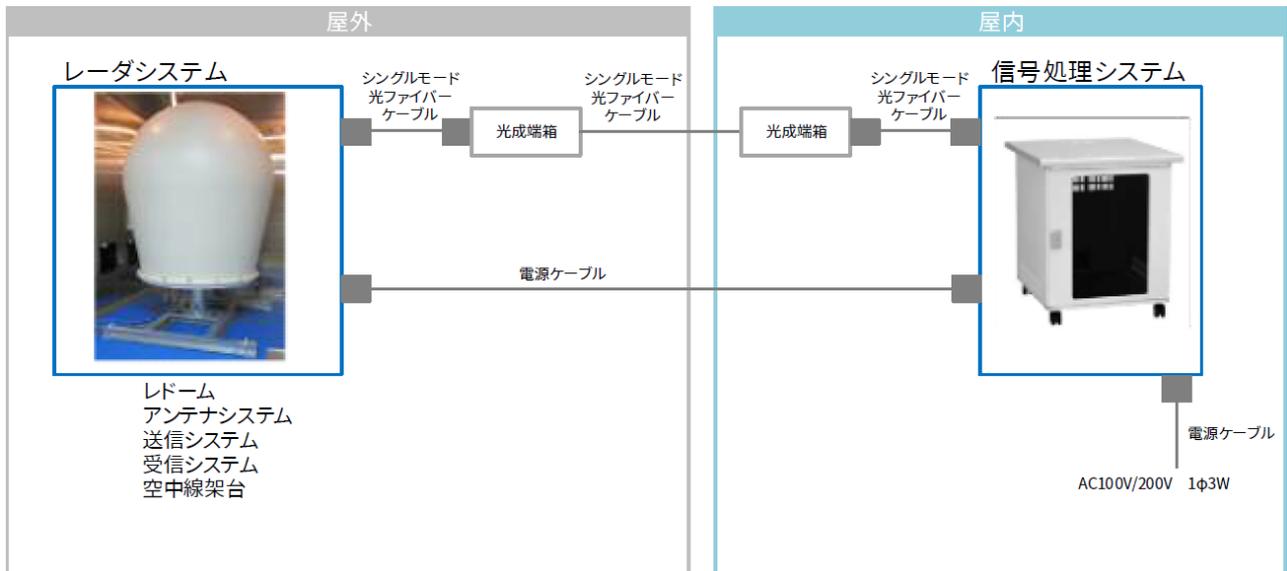
設置場所：空港事務所の対空通信室屋上

観測対象：半径80km（1便あたりの被雷が日本で最も多い小松空港も観測範囲に収まる）



### ※レーダ仕様

- ・屋外システムサイズ：2m×2m×2m程度
- ・屋外システム質量：500kg以下
- ・屋内システムサイズ：計算機ラック1～2個分
- ・消費電力：数百VA程度
- ・人体への影響なし



レーダシステムのイメージ